

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	揖斐川町立坂内小中学校		
実 施 期 間	平成25年11月2日(土)		
実 施 概 要	・地区文化祭参加(太鼓演奏と坂内の歴史の創作劇、発表)		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input checked="" type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input checked="" type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	22人	計 82人
	地 域 関 係 者	60人	
実 施 状 況	<p>本校のふるさと教育では、「ふるさと坂内に愛着をもち、ふるさとに主体的にかかわろうとする子どもたちを育む」ことをねらいとしている。ここでは、小学校と中学校との連携を大切にしている。</p> <p>小学校では、炭焼きや稲作、間伐など地域の伝統的な産業を体感する豊かな体験活動を主な取組としている。</p> <p>中学校では、小学校での豊かな体験をもとに、地域に主体的にかかわる活動を主な取組としている。具体的には、地域にかかわる文化を創り上げる活動である。地域の伝統芸能である夜叉龍太鼓や坂内の歴史の創作劇などを、総合的な学習の時間を活用し、創り上げてきた。</p> <p>1. 夜叉龍太鼓の取組(小学校、中学校合同の取組) 4月に入ってから、小学校と中学校が合同で、総合的な学習の時間を使い、太鼓の練習を始めた。太鼓の種類毎にグループとなり、中学生が小学生に教えながら練習を進めていく。中学生は、自分たちが先輩から教わったコツやポイントを小学生に伝えながら、一つものを創り上げていった。 この練習の成果を、11月2日(土)に地域の行事として行われる坂内文化祭において披露した。</p> <p>2. 坂内の歴史の創作劇(中学校の取組) 上記太鼓の取組と平行させて取り組むのが、坂内の歴史の創作劇である。そもそも、この劇に取り組むことになったきっかけは、昨年度の北海道研修で、十勝坂内会の方から、「自分たちが北海道へ渡った後の坂内の様子が知りたい。」という願いを伝えられたことになった。そこで、今年度は、昭和30年頃からの坂内の様子を劇にしようということになった。まず、総合的な学習の時間において、それぞれの学年でテーマを決め、そのテーマに沿って調べ学習を行った。1年生は、昔の学校生活。2年生は、地域の祭り。そして、3年生は、地域の伝統産業。このテーマに沿って、地域のお年寄りのお宅へ行き、聞き取り調査をしたり、坂内村史などの資料をもとに調べたりした。このようにして調べたことをもとに、劇のシナリオを教師とともに作り上げた。10月に入ると、劇の練習を始め、11月2日(土)の文化祭で地域の方に披露した。</p>		
成 果 及 び 課 題	<p>○保護者の中には、夜叉龍太鼓の取組を通して、子どもたちが成長したことを実感されてみえる方がみえ、次のように語ってみえた。 「保育園の頃からやっているが、中学生になり、凛々しさを感じるようになった。太鼓を始めてから『いやだ』と言ったことがない。主体的に取り組んでいる姿からやる気を感じている。」</p> <p>○地域の方からも、子どもたちの太鼓演奏に対し、「毎年見るのを楽しみにしているよ。いつも元気をくれてありがとう。」など励ましの声をいただいている。</p> <p>○子どもたち自身、太鼓の取組を長く続けてきて、次のような成長を感じている。 「小学校低学年の頃は、太鼓を叩くのがいやだった。でも、今は坂内のために、見ているお客さんのために、リーダーとしてみんなをまとめ、太鼓を楽しみながらやっている。」</p> <p>●今後、子どもの数はますます減っていく。そうした状況の中で、どのように太鼓演奏を続けていくか、創作劇を続けていくかが厳しい課題としてある。</p>		